

子どもたちの世代に 大きな負担にならないように！

「絶対に子どもたちを戦争に行かせたくない」「もう二度とせんとくをする国にしたいくない」参加者10名うち子どもたち5名の虹のひろば、今回は参加者の願いを一部ご紹介します。

「いつてきます」「いつてらっ
しゃい」と出掛けていった69
年前の8月6日の朝、あの原
爆させなければ。

「ただいま」「おかえり」当
たり前の会話が交わされる事
なくそれから地獄の始まりに
なるのです。

人々の夢、希望をたつた一
発の原爆で全て奪ってしま
う、そんな事が許されるはず
がありません。

今回、証言者の平野貞夫さ
んから貴重なお話を伺う事が
できました。

今回のテーマ「継承と創造」
でもあるように「伝承から継
承そして伝承」私達が次世代
へ伝えていくんだという気持
ちが大切だと実感しました。

春日井南城班

栗田 美由紀



43年ぶりに雨の中、孫と参加しま
した。

まだ小学3年生なので、どこまで
感じとってくれるのかわかりません
でしたが、子どもながらに原爆が怖い
ものだと感じた様です。

被爆者の平野さんの建物疎開で中
学生が作業中大勢が犠牲になった話
を聞き、改めて2度とこんな悲劇を
くり返してはいけなと思います。

今年是集団的自衛権が閣議決定さ
れ、節目となる年に参加できたことは
意義のあるものでした。

私も戦争を知らないで育ちました
が、孫に広島を見せたことで戦争や
原爆のことを継承できたのかなと思
います。

西区山田支部 米本 克恵

初めての新かん線で、わくわくしな
がら行きました。

しげる君のおべん当のげき
を見ました。

おべん当が黒くなったのはば
くだんを落とされた時にまっ黒
にやけたからです。

げきを見て、しげる君が亡く
なったのを知った時のお母さん
の悲しさが伝わりました。

いろんな人の話を聞いて、ホ
テルでねる時ばくだんが落ちて
こないかと思つてこわかったで
す。帰りの新かん線にのる前、
カラオケに行つてみんなと歌つ
て楽しかったです。

西区山田支部 小嶋 壮陽